

栗東市子ども・子育て支援事業 ニーズ調査結果報告書

概要版

平成26年3月
栗東市

目次

I 調査の概要

..... 1

II 調査結果のポイント

1. 家族の状況と子どもの育ちをめぐる環境について 2
2. 母親の両親の就労状況・就労意向について 4
3. 教育・保育事業の利用状況と利用希望について 6
4. 地域子ども・子育て支援事業の利用について 9
5. 小学生の放課後の過ごし方について 13
6. 職場の両立支援制度について 15
7. 子育て全般について 17

I 調査の概要

1) 調査の目的

本調査は、栗東市における教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握し、事業計画に教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の「利用人数などの見込み」を適切に設定するために実施しました。

2) 調査の方法

- (1) 調査地域……栗東市内全域
- (2) 調査対象……栗東市内在住の就学前児童及び小学生の保護者
- (3) 抽出方法……住民基本台帳より無作為抽出
- (4) 調査方法……郵送による配布、回収
- (5) 調査期間……平成 25 年 10 月 10 日～11 月 5 日

3) 回収結果

調査種別	配布数	回収数	回収率
就学前児童調査	2,000	835	41.8%
小学校児童調査	1,000	424	42.4%

4) 集計にあたって

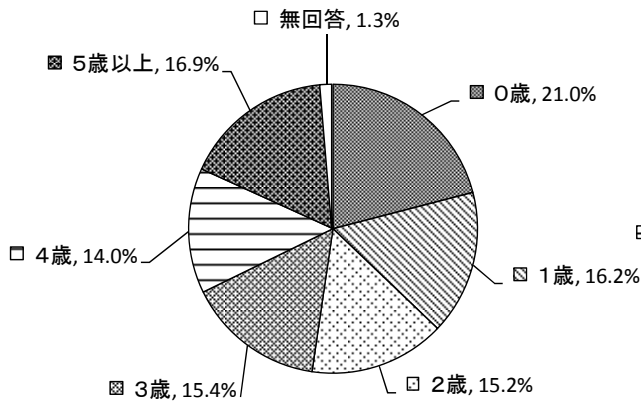
- (1) 集計結果はすべて、小数第 2 位を四捨五入して算出しました。そのため、回答率を合計しても 100.0%にならず、1%の範囲で増減することがあります。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数nとして算出しました。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると 100.0%を越えることがあります。
- (3) n (Number of Cases の略) は比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答者数に相当するかを示しています。
- (4) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化しています。
- (5) クロス結果の表について、設問に対する「無回答」がある場合にはこれを表示しないため、基数nは設問により異なります。また、年齢別の合計件数は「無回答」を表示していないため、全体の件数と一致しないことがあります。

II 調査結果のポイント

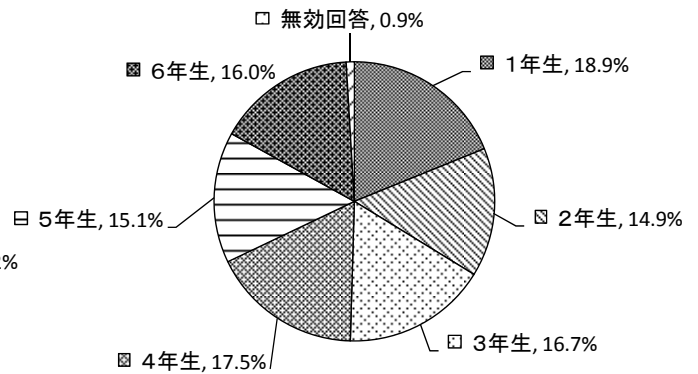
1. 家族の状況と子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 対象児童の年齢

【就学前調査 N=835】

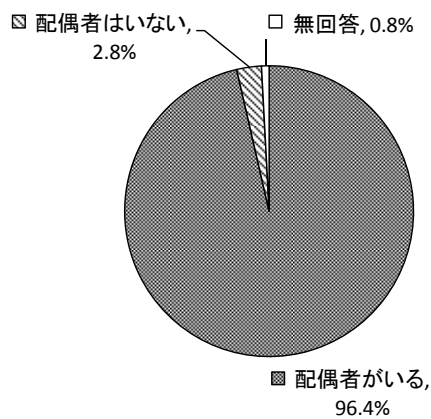


【小学校調査 N=424】

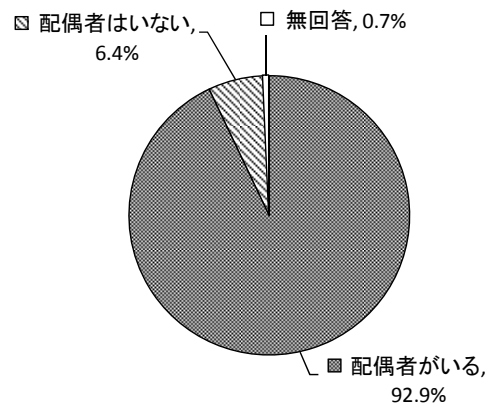


(2) 回答者の配偶者の状況

【就学前調査 N=835】

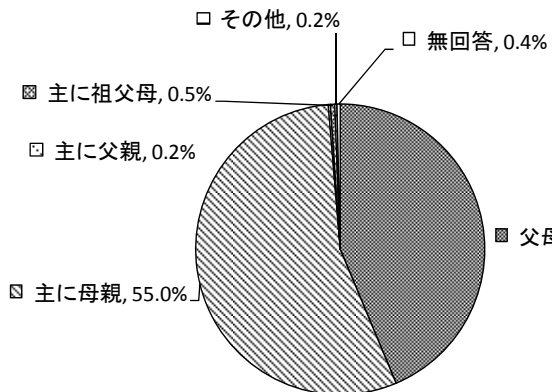


【小学校調査 N=424】

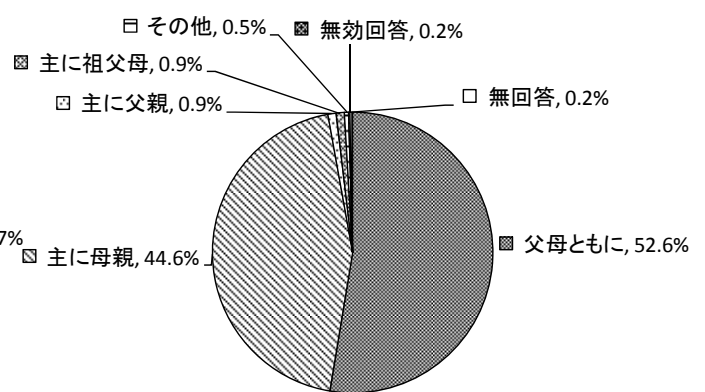


(3) 子育ての主体者

【就学前調査 N=835】



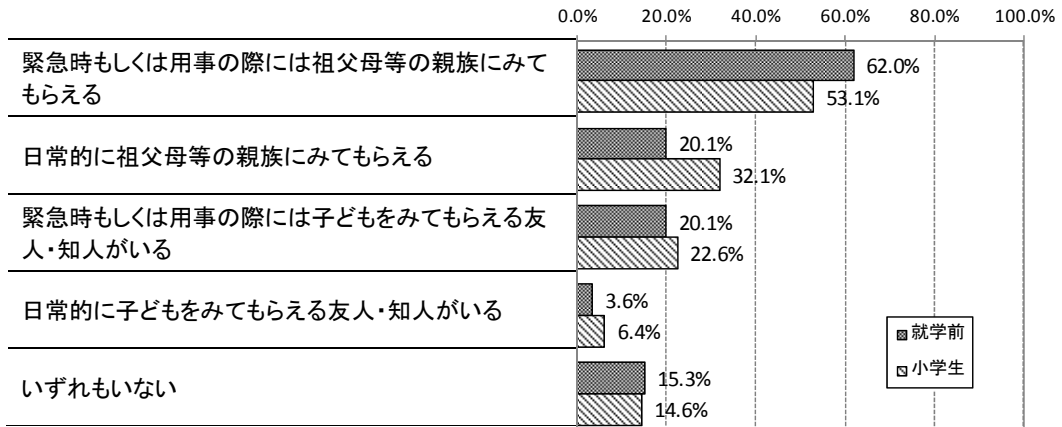
【小学校調査 N=424】



(4) 日頃、子どもを見てもらえる親族・知人の存在

日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人がいるかどうかについては、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が約 50～60%で最も多くなっています。次いで、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が約 20～30%となっており、「緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる」も 20%前後に上ります。一方、約 15%の方が「いずれもない」と回答しています。

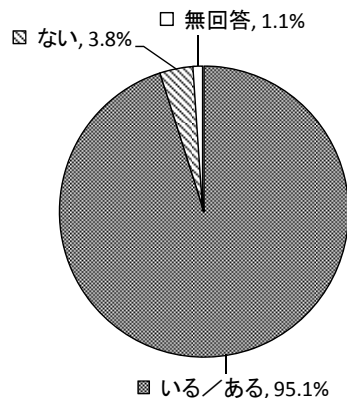
【就学前調査 N=835、小学校調査 N=424／複数回答】



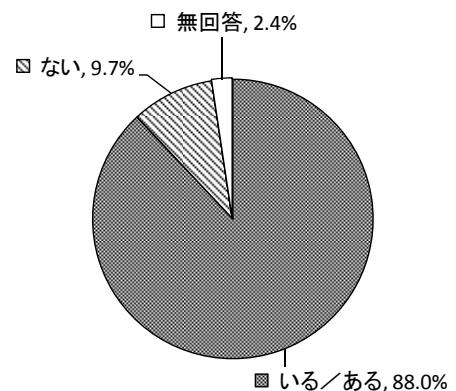
(5) 相談相手の存在

子育てについて相談できる人、場所があるかどうかについては、「いる／ある」と回答した人が 90%前後を占めますが、『小学生』では「ない」と回答した人が約 10%に上ります。

【就学前調査 N=835】



【小学校調査 N=424】

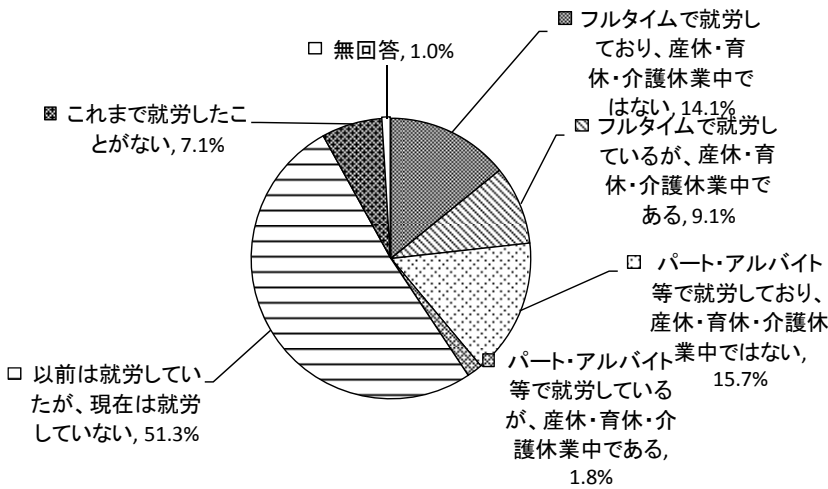


2. 母親の就労状況・就労意向について

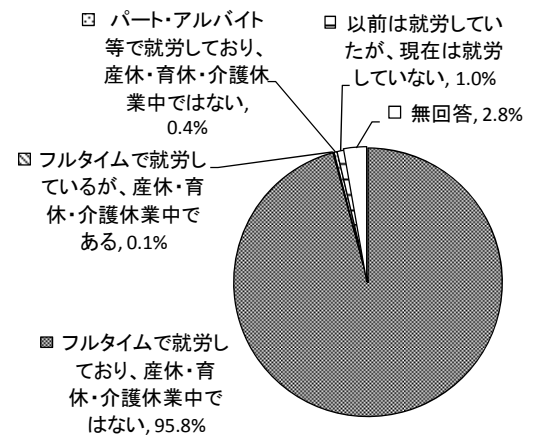
(1) 現在の就労状況について

母親の現在の就労状況は、『就学前』では60%近い方が「働いていない」という状況ですが、『小学校』では「働いていない」が少なくなり、「パート・アルバイト」が約40%となります。子どもが大きくなるに従い、パート等に就く方が増えることがうかがえます。

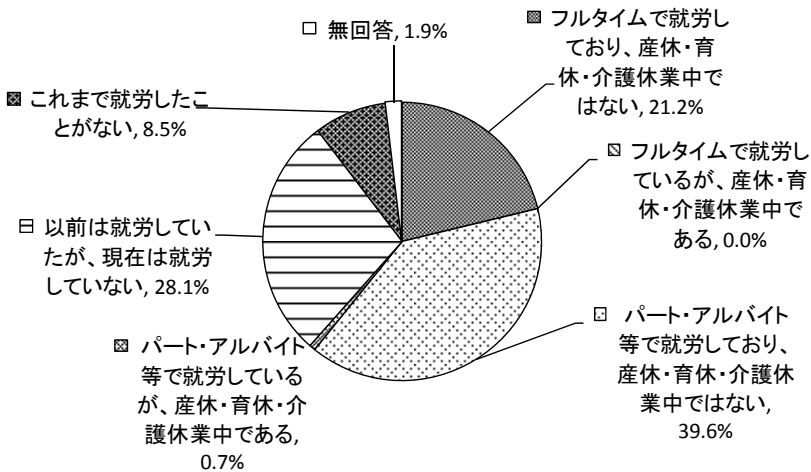
【就学前調査 N=835】



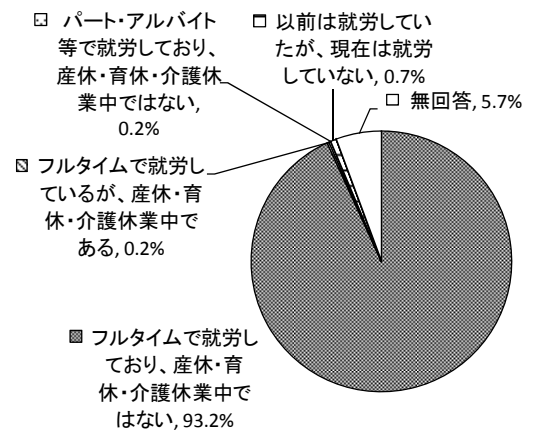
〔参考〕父親の就労状況



【小学校調査 N=424】



〔参考〕父親の就労状況

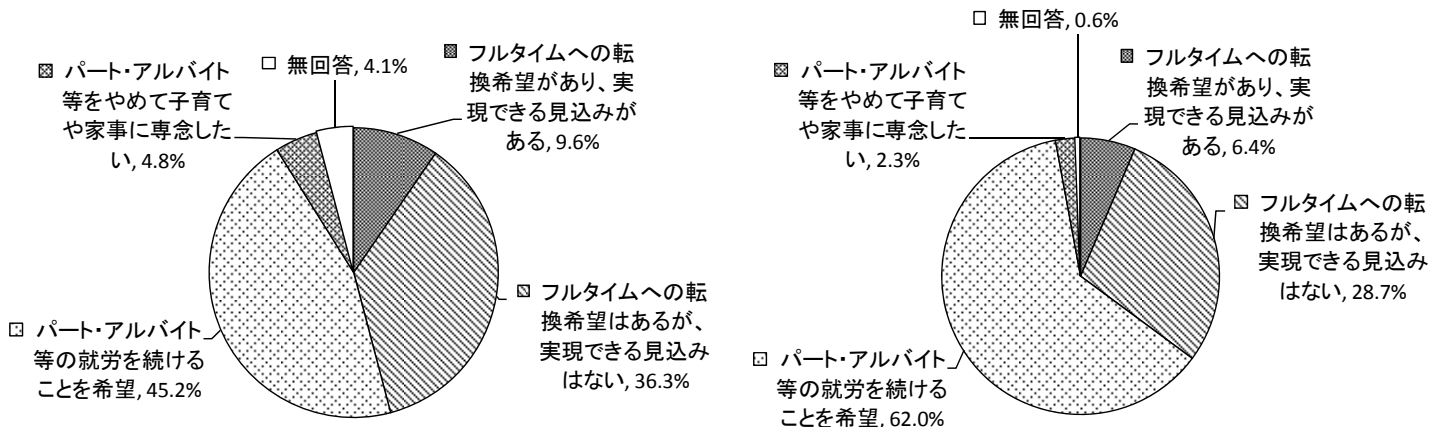


(2) 現在パート・アルバイト等で働いている方のフルタイムへの転換希望

現在パート・アルバイト等で働いている方のフルタイムへの転換希望は、「今後も、パート・アルバイト等で働き続けたい」が最も多く、『就学前』で約45%、『小学校』で約60%に上ります。また、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が30%前後となっています。一方、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は『就学前』のほうがやや多く約10%です。

【就学前調査 N=146】

【小学校調査 N=171】

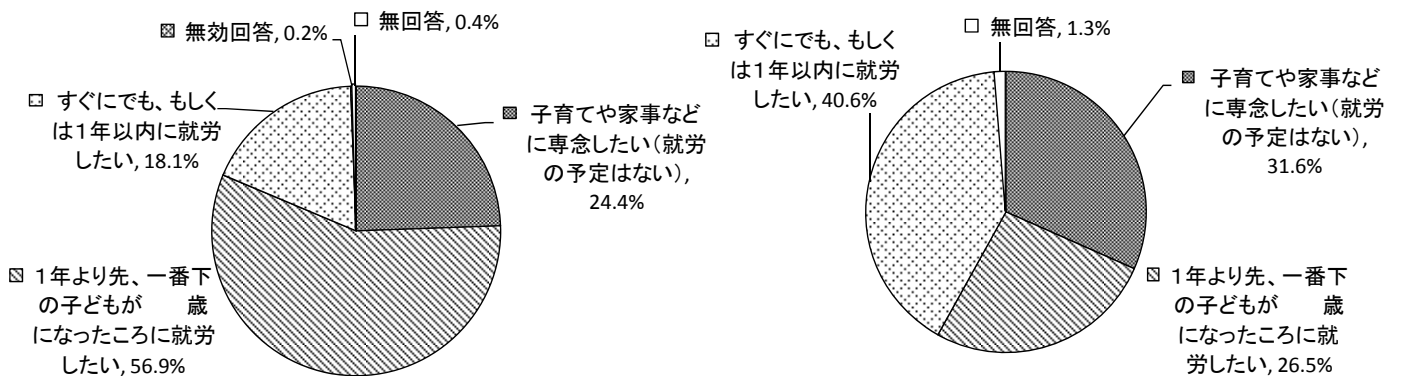


(3) 現在働いていない方の働きたいという希望

現在働いていない方の就労希望は、「すぐにも、もしくは1年以内に働きたい」方が『就学前』で約20%、『小学校』で約40%です。また、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに働きたい」を合わせると、『就学前』の75%、『小学校』の約65%が「働きたい」と考えていることになります。一方、「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」方は『就学前』で約25%、『小学校』で30%強に上ります。

【就学前調査 N=487】

【小学校調査 N=155】



3. 教育・保育事業の利用状況と利用希望について

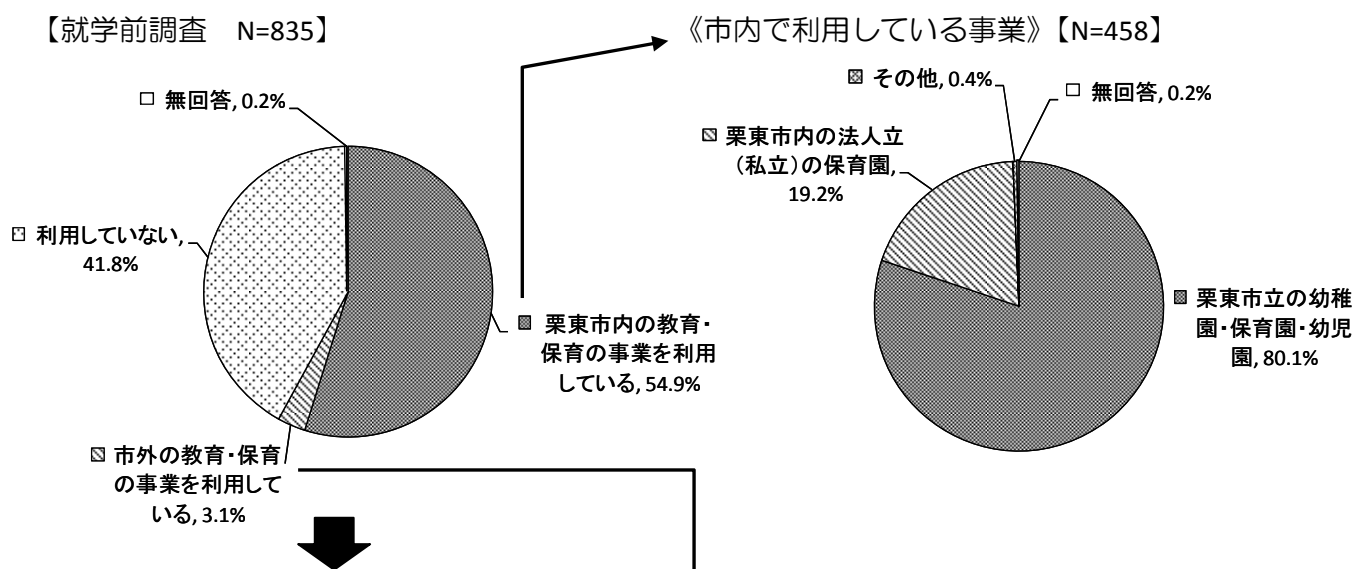
(1) 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況

定期的な教育・保育事業の利用状況は、「栗東市内の教育・保育の事業を利用している」が50%以上に上り、「市外」を合わせて60%弱となっています。

年齢別にみると、「3歳」以上では90%以上が栗東市内の教育・保育事業を利用しています。また、「0歳」では利用していない人が90%以上を占めています。

市内で利用している教育・保育事業は、「栗東市立の幼稚園・保育園・幼児園」が約80%を占めており、「栗東市内の法人立（私立）の保育園」は約20%となっています。

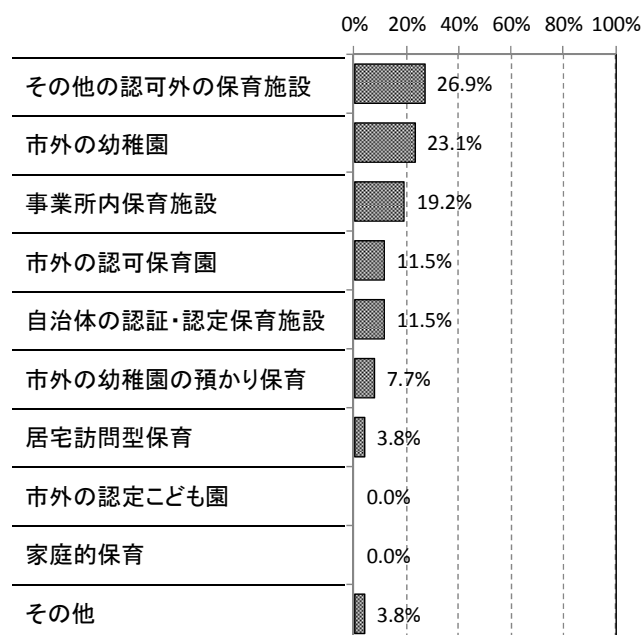
市外で利用している教育・保育事業は、「その他の認可外の保育施設」（26.9%・7人）、「幼稚園」（23.1%・6人）、「事業所内保育施設」（19.2%・5人）となっています。



年齢別集計

	栗東市内の事業 を利用している	市外の事業を 利用している	利用していない	N値
0歳	5.7%	1.1%	93.1%	174
1歳	25.9%	4.4%	69.6%	135
2歳	26.2%	6.3%	67.5%	126
3歳	92.2%	3.1%	4.7%	129
4歳	95.7%	3.4%	0.9%	117
5歳	99.3%	0.7%	—	141

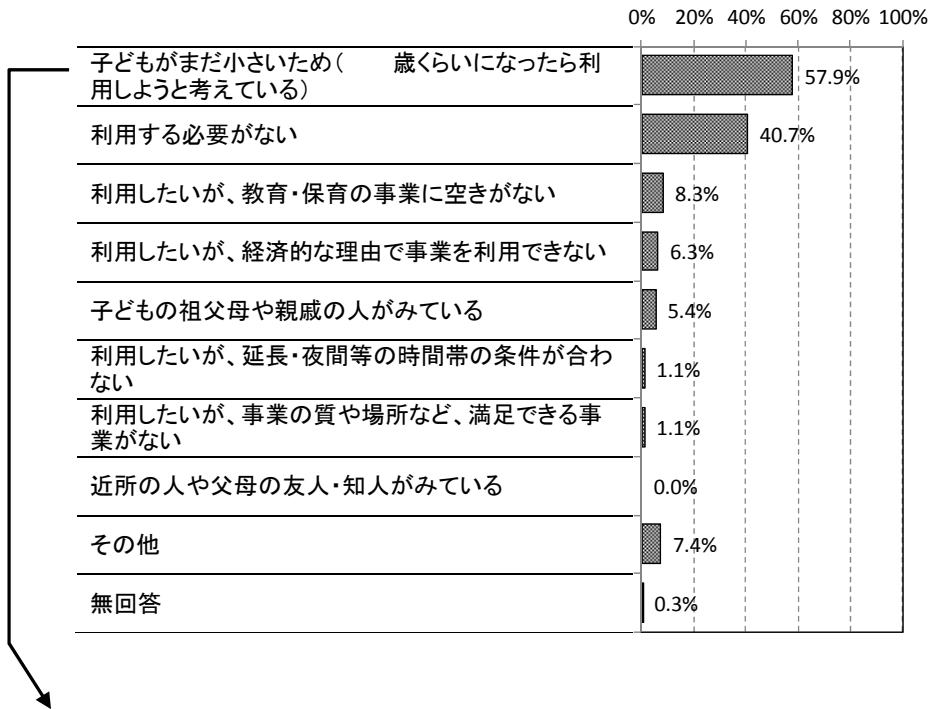
※無回答は省略



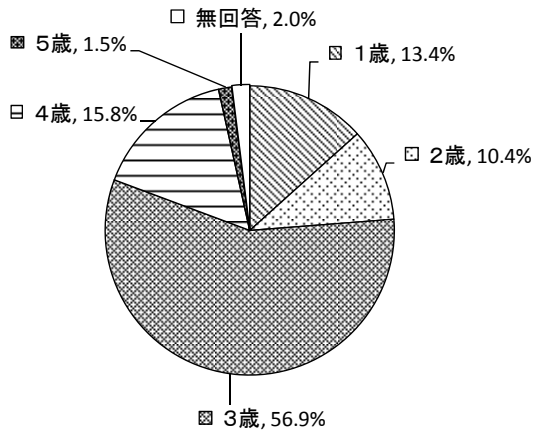
(2) 「定期的な教育・保育の事業」を利用していない方の理由

教育・保育事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため」が約60%、次いで、「利用する必要がない」が約40%です。一方、定員に空きがない、経済的な理由など、利用したいができないという方はいずれも10%未満ですが、一定割合あることが分かります。

【就学前調査 N=348／複数回答】



《平日の定期的な教育・保育を利用しようと考えている年齢》【N=486】



子どもが「3歳」くらいになったら利用しようと考えている方が最も多く、50%以上に上ります。

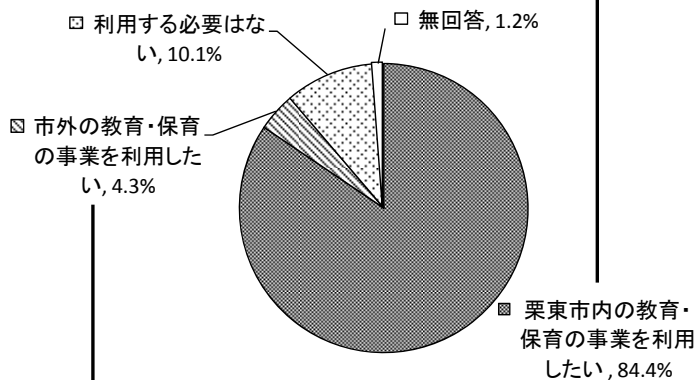
(3) 平日の「定期的な教育・保育の事業」の利用意向

平日に教育・保育事業を定期的に利用したいかどうかについては、「栗東市内の教育・保育の事業を利用したい」が約85%を占めています。一方、「利用する必要はない」と回答した人は約10%となっています。

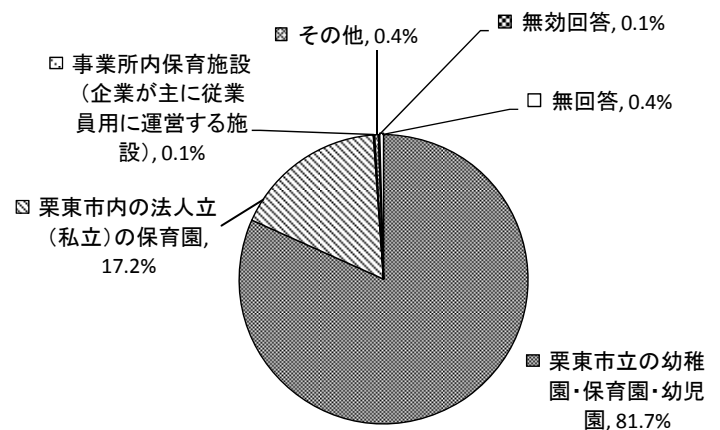
平日に栗東市内で利用したい教育・保育事業は、「栗東市立の幼稚園・保育園・幼児園」が約80%を占め、「栗東市内の法人立（私立）の保育園」は20%弱となっています。これを母親の就労状況別にみると、どの就労状況でも「栗東市立の幼稚園・保育園・幼児園」が最も多くなっていますが、「フルタイム」では「栗東市内の法人立（私立）の保育園」も40%以上に上っています。

平日に市外で利用したい教育・保育事業は、「認可保育園」が最も多く、「幼稚園」、「その他の認可外の保育施設」「認定こども園」と続いています。

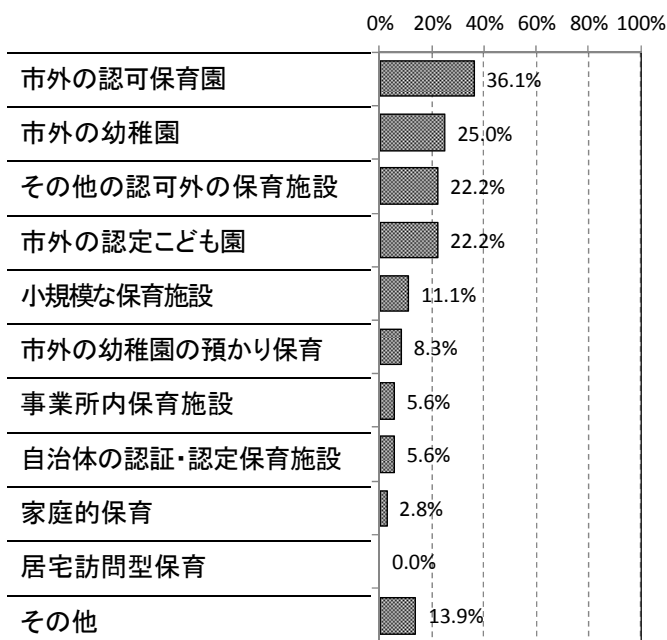
【就学前調査 N=835】



《市内で利用したい事業》【N=705】



《市外で利用したい事業》【N=36】



就労状況別集計

	フルタイム	パートタイム・アルバイト等	無職
栗東市立の幼稚園・保育園・幼児園	55.6%	79.8%	94.9%
栗東市内の法人立の保育園	43.3%	20.2%	4.3%
事業所内保育施設	0.6%	—	—
その他	0.6%	—	0.5%
N値	171	129	395

※無効回答、無回答は省略

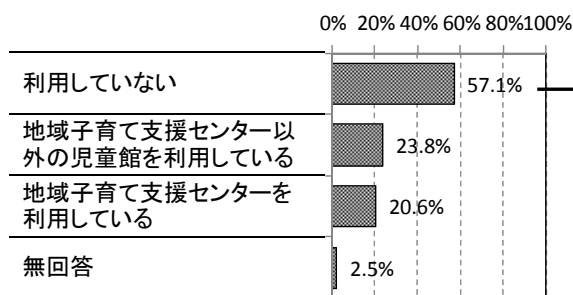
4. 地域子ども・子育て支援事業の利用について

(1) 子育て支援センター・児童館

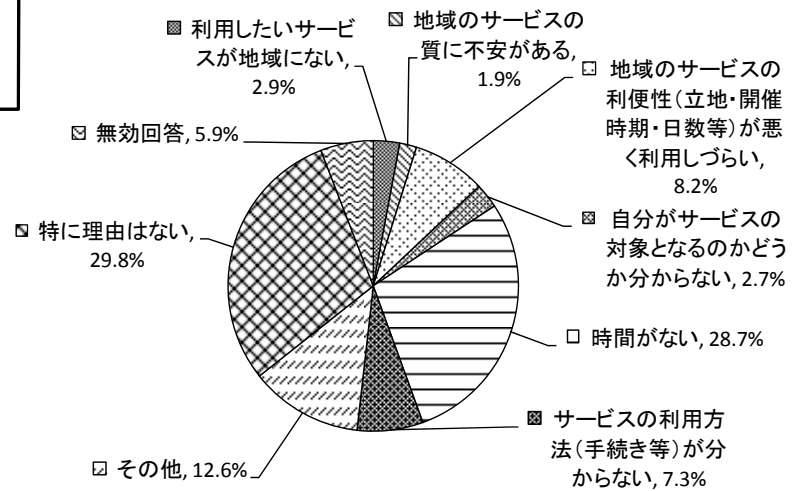
地域の子育て支援事業の利用状況は、「利用していない」が60%弱です。「地域子育て支援センター以外の児童館を利用している」は23.8%、「地域子育て支援センターを利用している」は20.6%となっています

現在、地域子育て支援センターや児童館を利用していない理由は、「特に理由はない」と「時間がない」が約30%となっています。一方、いずれも10%未満ながら、情報不足及び内容や条件等によって利用していないと思われる人が一定割合いらっしゃいます。

【就学前調査 N=835／複数回答】



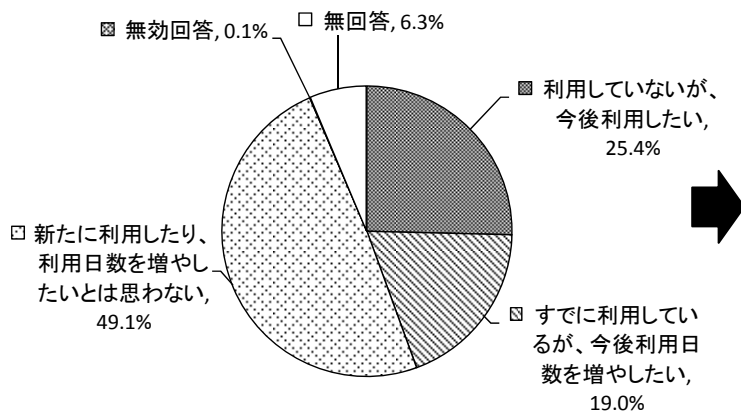
《利用していない理由》【N=477】



今後、地域子育て支援センターや児童館を利用したいかどうかについては、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」と回答した人が半数近くを占めており、「利用していないが、今後利用したい」は約25%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は約20%となっています。

年齢別にみると、「0歳」では「利用していないが、今後利用したい」と回答した人が最も多く、40%以上に上ります。

【就学前調査 N=835】



年齢別集計

	利用していないが、今後利用したい	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	N値
0歳	41.2%	22.4%	36.4%	165
1歳	26.2%	26.2%	47.5%	122
2歳	24.1%	25.9%	50.0%	116
3歳	21.1%	13.8%	65.0%	123
4歳	21.2%	15.9%	61.9%	113
5歳	20.5%	17.4%	62.1%	132

※無効回答、無回答は省略

(2) 子どもが病気の際の対応

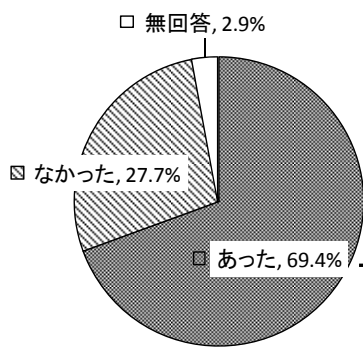
この1年間に、お子さんが病気やけがでいつも利用している教育・保育事業が利用できなかったことが「あった」方が全体の3分の2以上に上ります。

その時の対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が最も多く、50%以上に上ります。その一方、「病児・病後児保育を利用した」は少数でした。

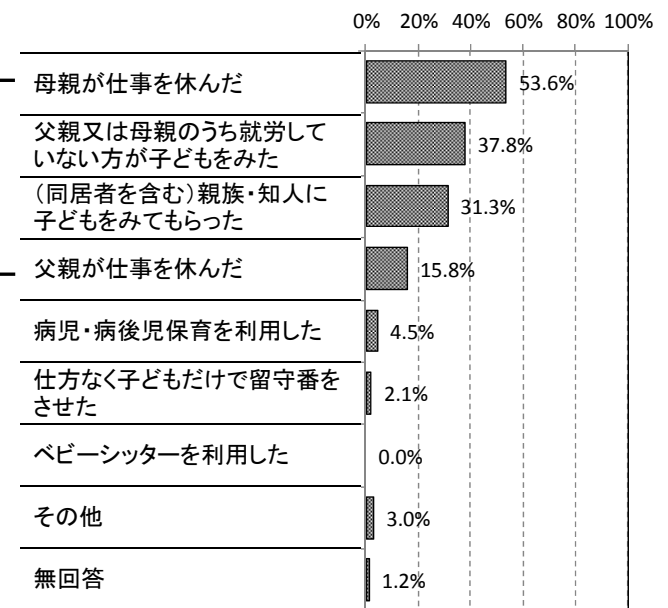
母親または父親が仕事を休んだ際に、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思った方は30%弱となっており、一定割合のニーズが認められます。

逆に、「利用したいとは思わない」方の理由は、「親が仕事を休んで対応」や「他人に看てもらうのは不安」、「利用料がかかる・高い」などが多くなっています。

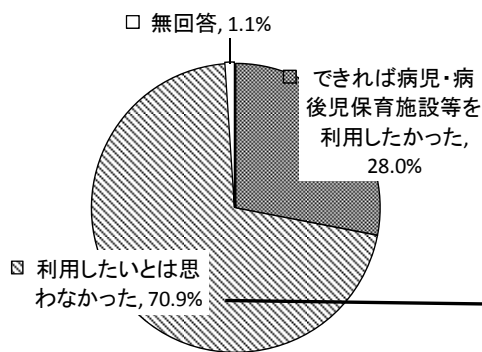
【就学前調査 N=484／複数回答】



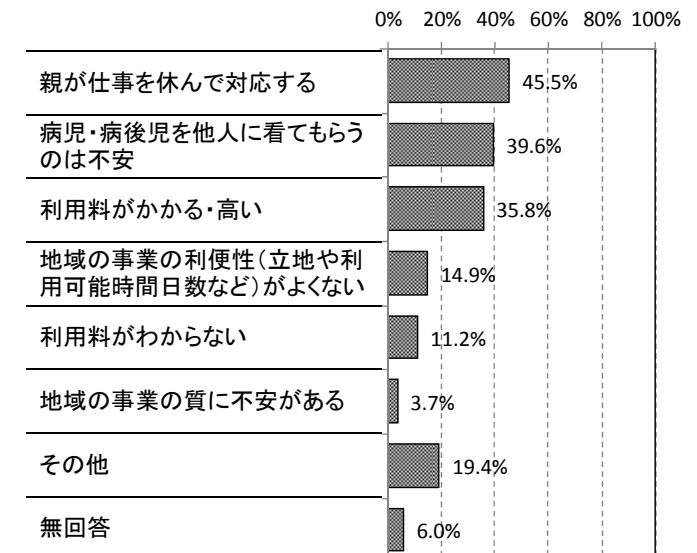
《子どもが病気の際の対応》【N=336／複数回答】



《仕事を休んだと回答した父親又は母親の病児・病後児保育の利用希望》【N=189】



《病児・病後児保育を利用したいと思わない方の理由／複数回答》【N=134／複数回答】

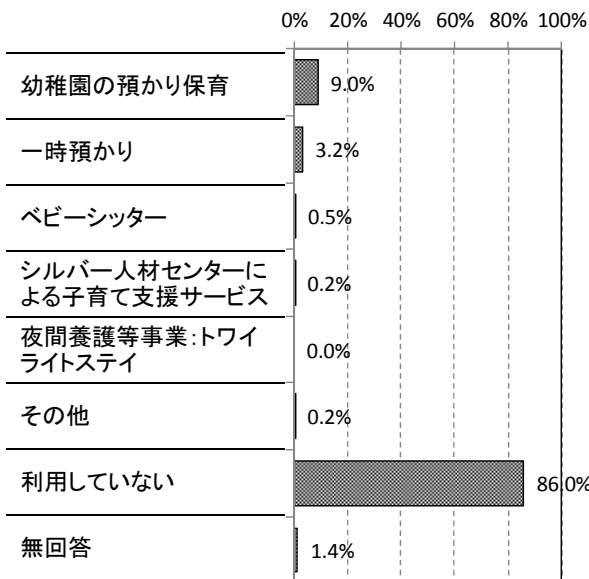


(3) 不特定の事業

私用、親の通院、不特定の就労等の目的で利用している事業は、「幼稚園の預かり保育」が9.0%、「一時預かり」が3.2%、「ベビーシッター」が0.5%（4人）、「シルバー人材センターによる子育て支援サービス」が0.2%（2人）と少なく、「利用していない」が86.0%を占めています。

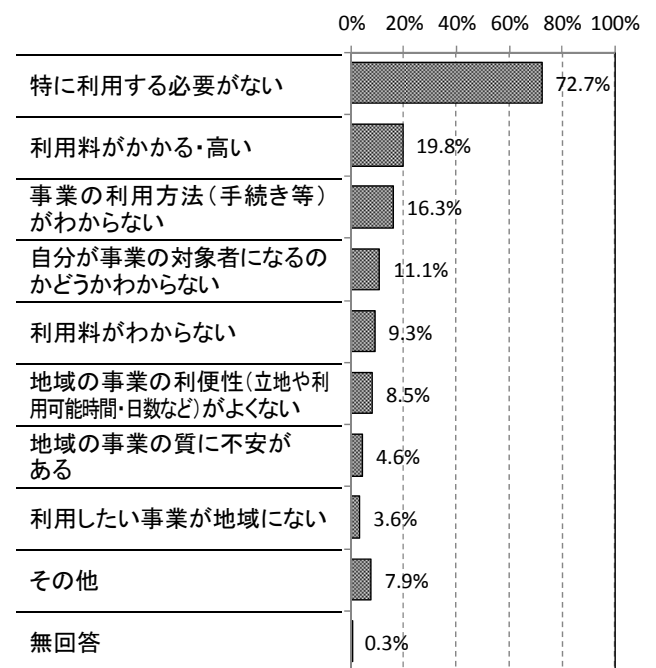
不特定の教育・保育事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が全体の70%以上に上ります。一方、「利用料」や「利便性」、「事業の質」、「事業が地域にない」などの内容や条件等を要因とする方、及び「事業の利用方法」や「事業の対象者」、「利用料」などがわからないことも一定割合に上ります。

【就学前調査 N=835／複数回答】

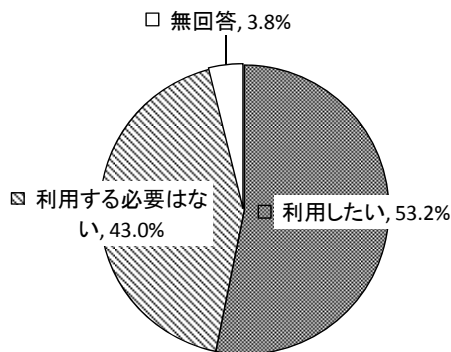


《不特定の事業を利用していない理由》

【N=718／複数回答】



【就学前調査 N=835】



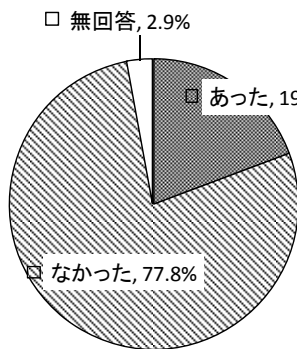
私用、親の通院、不特定の就労等の目的で今後事業を「利用したい」は53.2%、「利用する必要はない」は43.0%となっています。

(4) 泊まりがけで預けなければならなかったことの有無

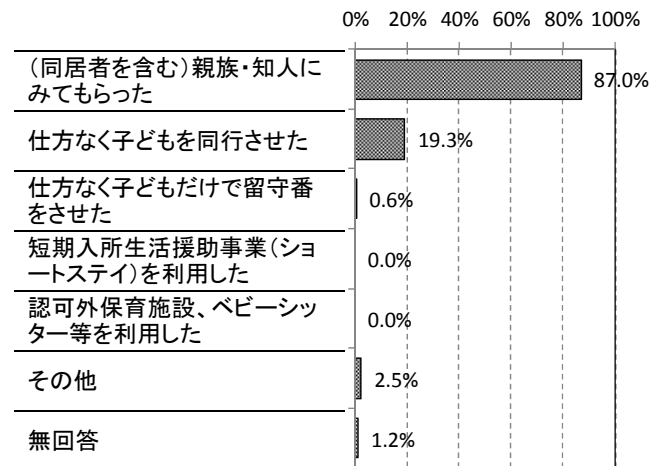
この1年間に、保護者の用事でお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことが「あった」方は約20%です。

その際の対処方法としては、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が90%近くに上ります。一方、「仕方なく子どもを同行させた」方も約20%いました。また、「短期入所生活援助事業(ショートステイ)」や「認可外保育施設、ベビーシッター等」の利用者はありませんでした。

【就学前調査 N=835】



《泊まりがけで預けなければならなかった場合の対処方法/複数回答》【N=161】

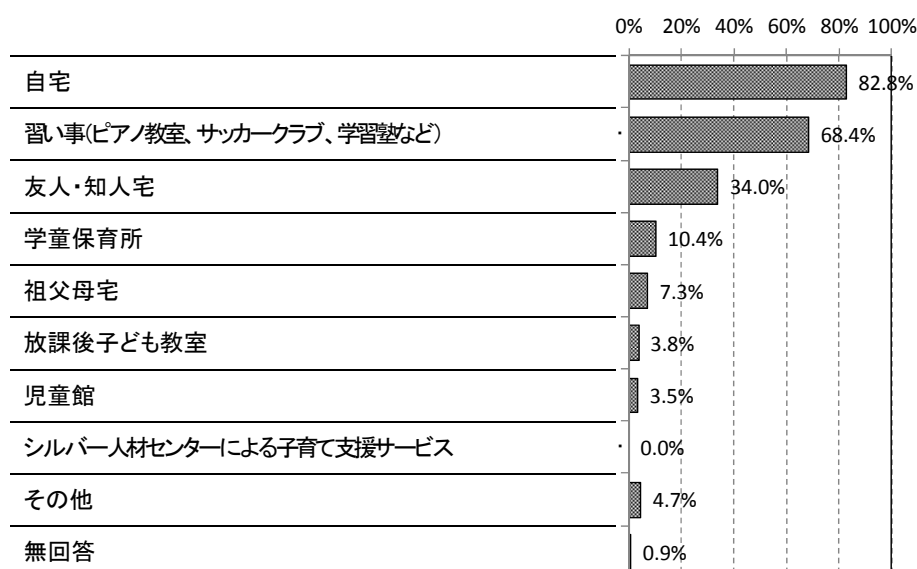


5. 小学生の放課後の過ごし方について

(1) 現在、放課後を過ごす場所

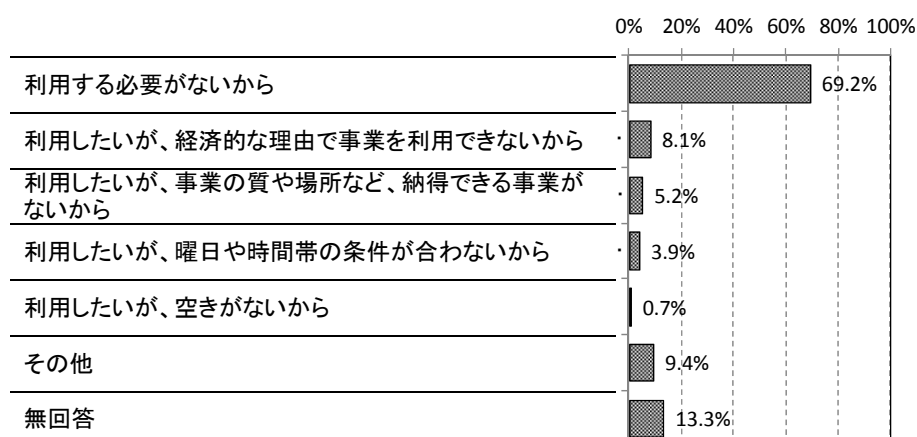
現在のお子さんの放課後の過ごし方については、「自宅」が80%以上に上り、「習い事」も70%近くなっています。一方、「学童保育所」は約10%となっており、「シルバー人材センターによる子育て支援サービス」の利用はありません。

【小学校調査 N=424／複数回答】



学童保育所を利用していない理由は、「利用する必要がないから」が約70%で最も多くなっています。一方、いずれも10%未満ながら、内容や料金、条件等が理由で利用していない人もあります。「利用したいが、空きがないから」は0.7%（3人）となっています。

【小学校調査 N=406／複数回答】



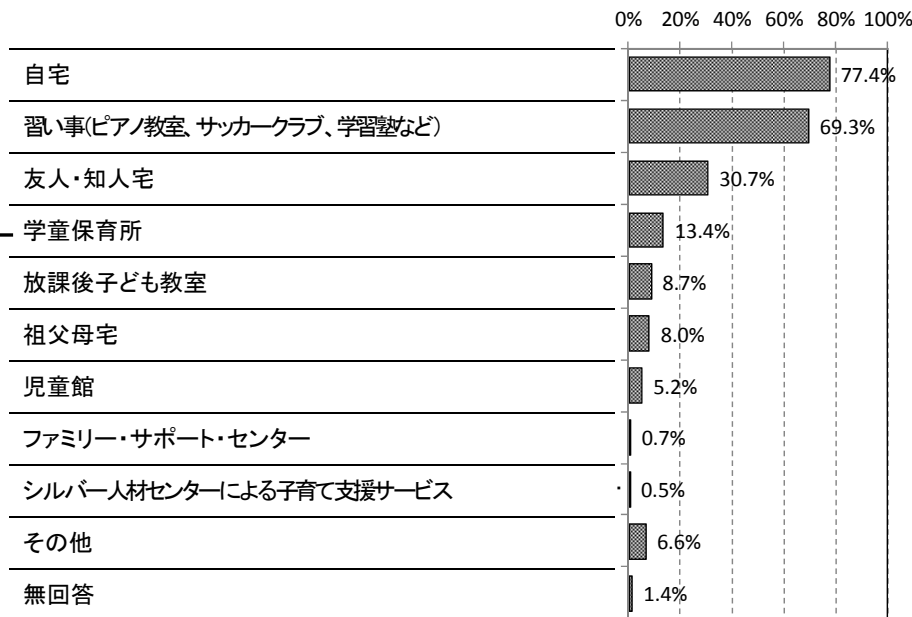
(2) 今後、放課後を過ごさせたいと思う場所

今後、どのような場所で放課後を過ごさせたいかについては、前ページの現在の過ごし方と大きくは傾向が変わらず、「自宅」が約80%、「習い事」が約70%です。一方、「学童保育所」は現状より5ポイントほど多い13.4%でした。

また、学童保育所の利用を希望する人に、何年生まで利用したいかについては、「6年生」までが60%以上に上りました。

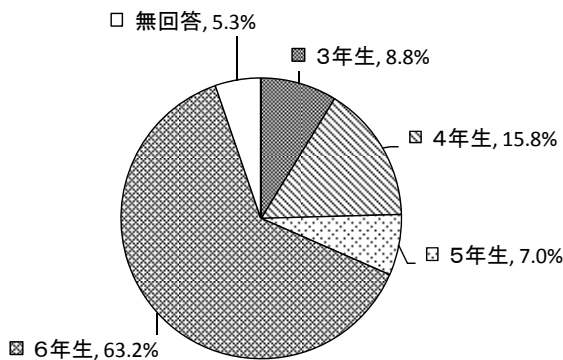
学童保育所の利用を希望する人のうち、長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望については、「利用したい」が大半を占めています。

【小学校調査 N=424／複数回答】



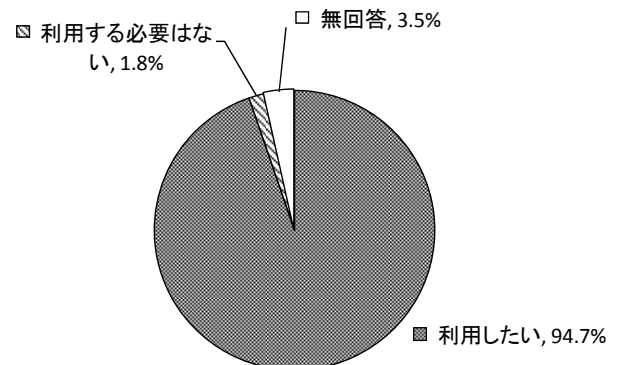
《学童保育所の利用を希望する学年》

【N=57】



《長期の休暇期間中の学童保育所の利用意向》

【N=57】



6. 職場の両立支援制度について

(1) 育児休業の取得状況

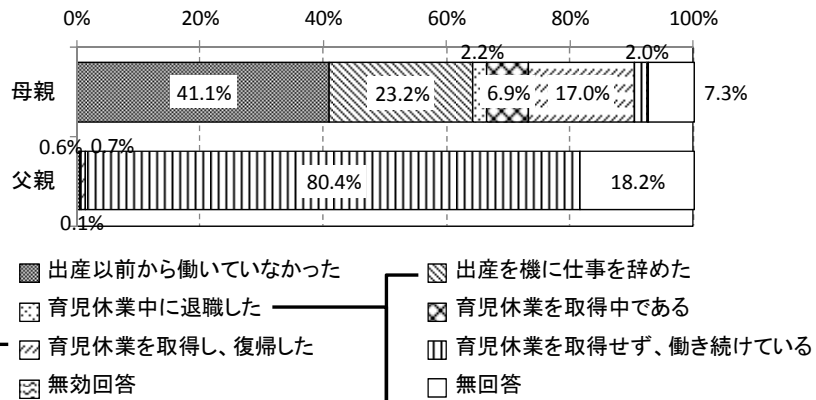
育児休業を取得したかどうかについては、「母親」は「出産以前から働いていなかった」が41.1%で最も多く、「出産を機に仕事を辞めた」が23.2%が続いています。「育児休業を取得中である」は6.9%、「育児休業を取得し、復帰した」は17.0%と、育児休業取得経験のある人は合わせて23.9%となっています。

「父親」は「育児休業を取得せず、働き続けている」が80.4%を占めており、「育児休業を取得し、復帰した」は僅かに0.7%（6人）となっています。

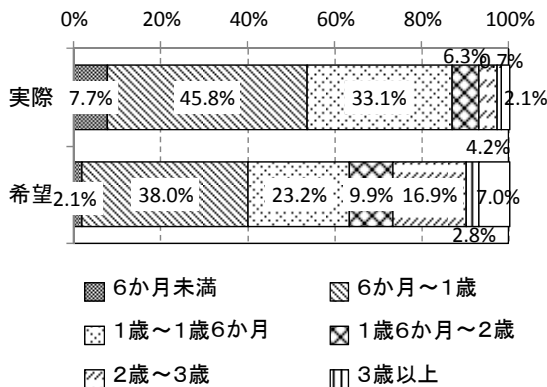
仕事を辞めた方（母親）に、保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続したかどうかを聞いたところ、「いずれにしても辞めていた」が最も多くなっています。

また、職場復帰した方（母親）が、実際に復帰したタイミングは、子どもが「6か月～1歳」と「1歳～1歳6か月」で80%近くを占めますが、希望では、「1歳6か月～2歳」や「2歳～3歳」も合わせて25%程度に上ります。

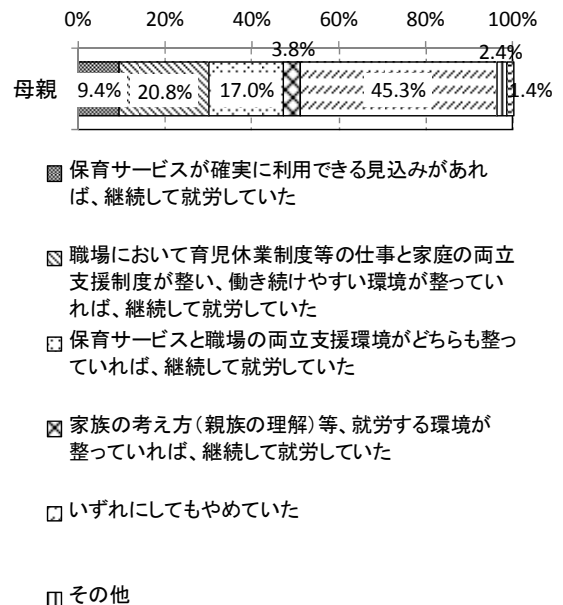
【就学前調査 N=835】



《職場復帰した時期と希望時期（母親）》
【N=142】



《保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続したか（母親）》【N=212】

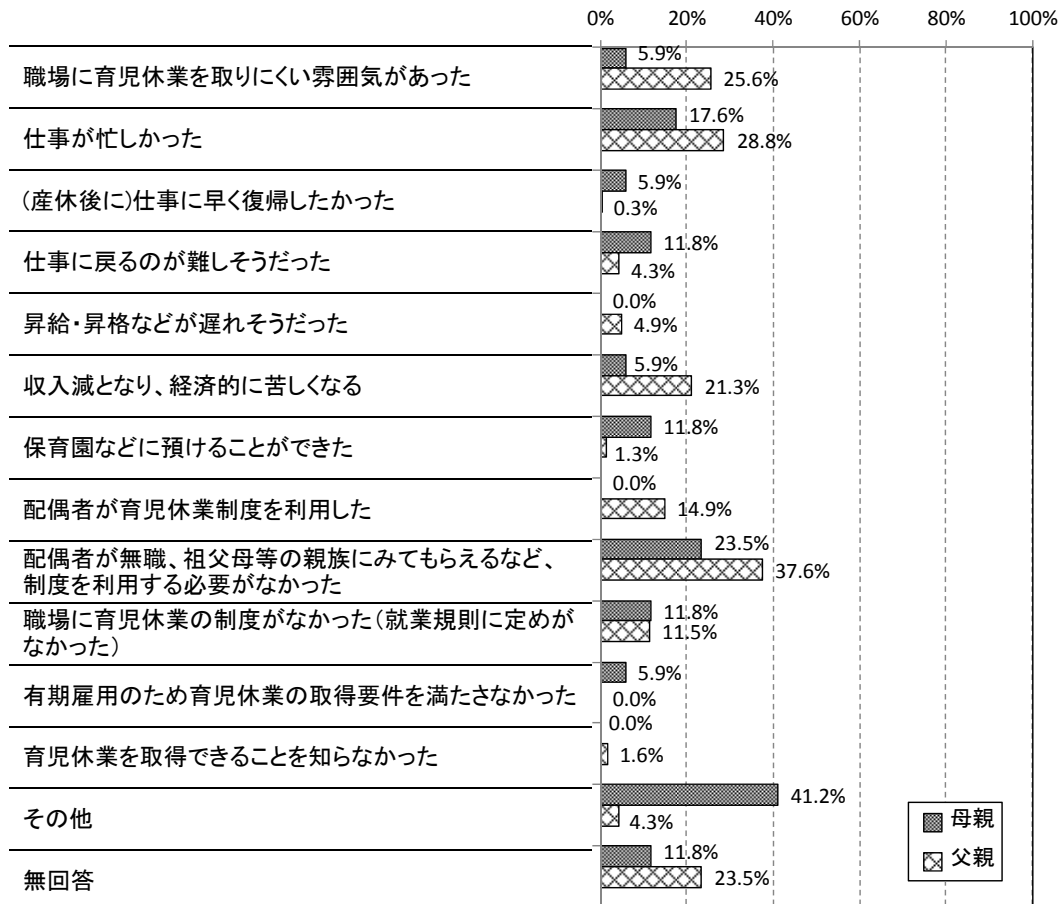


(2) 育児休業を取らずに働き続けている理由

育児休業を取得せず働き続けている理由は、「母親」は少数ながら「制度を利用する必要がなかった」、「仕事が忙しかった」などがあげられています。

一方、「父親」では「制度を利用する必要がなかった」が最も多く、次いで、「仕事が忙しかった」、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が20~30%に上ります。

【就学前調査 母親 N=17、父親 N=671】



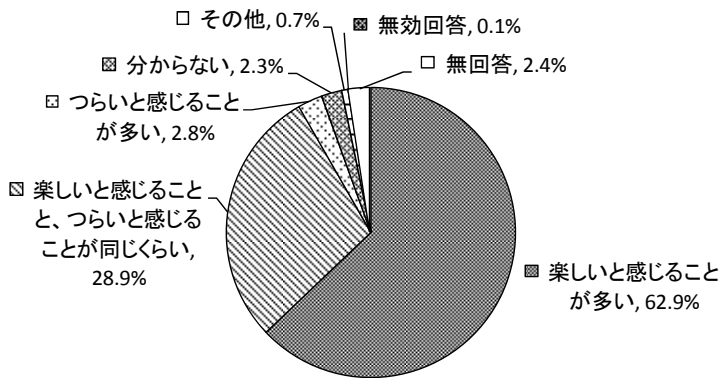
7. 子育て支援全般について

(1) 子育ての楽しさとつらさ

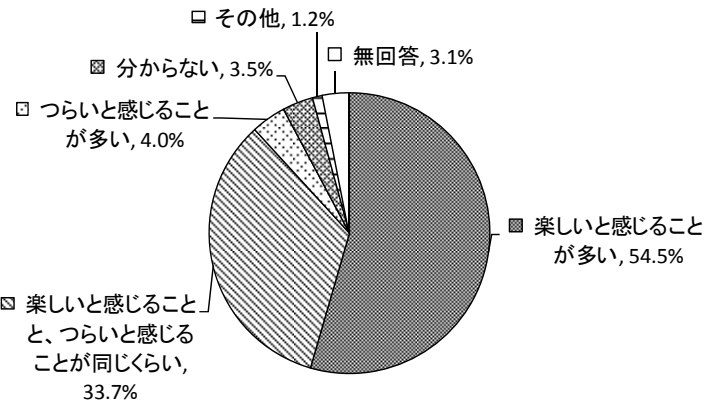
子育てを楽しんでいることが多いか、つらいと感じていることが多いかどうかについては、「楽しいと感じることが多い」と感じている人が『就学前』『小学校』とも60%前後に上り、多くなっています。次いで、「楽しいと感じること、つらいと感じることが同じくらい」が30%前後で続いています。

一方、「つらいと感じることが多い」と回答した人は約3~4%あります。

【就学前調査 N=835】



【小学校調査 N=424】

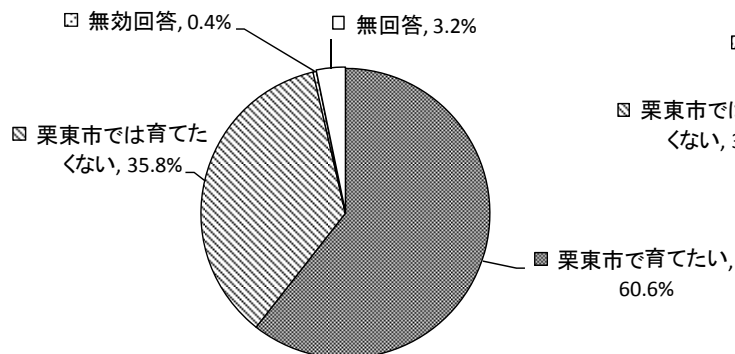


(2) 栗東市での子育て

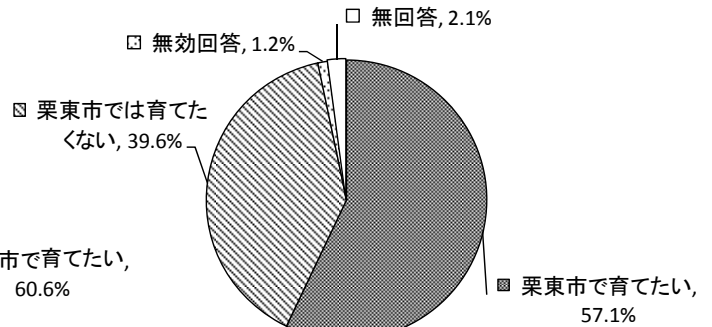
今後も栗東市で子育てしたいかどうかについては、「栗東市で育てたい」と思う人が『就学前』『小学校』とも約60%に上り多くなっています。一方、「栗東市では育てたくない」と思う人は40%弱となっています。

平成21年に実施した調査結果と比較すると、『就学前』『小学校』ともに、「栗東市で育てたい」が約8~9ポイント減っており、「栗東市では育てたくない」が約9ポイント増えています。

【就学前調査 N=835】



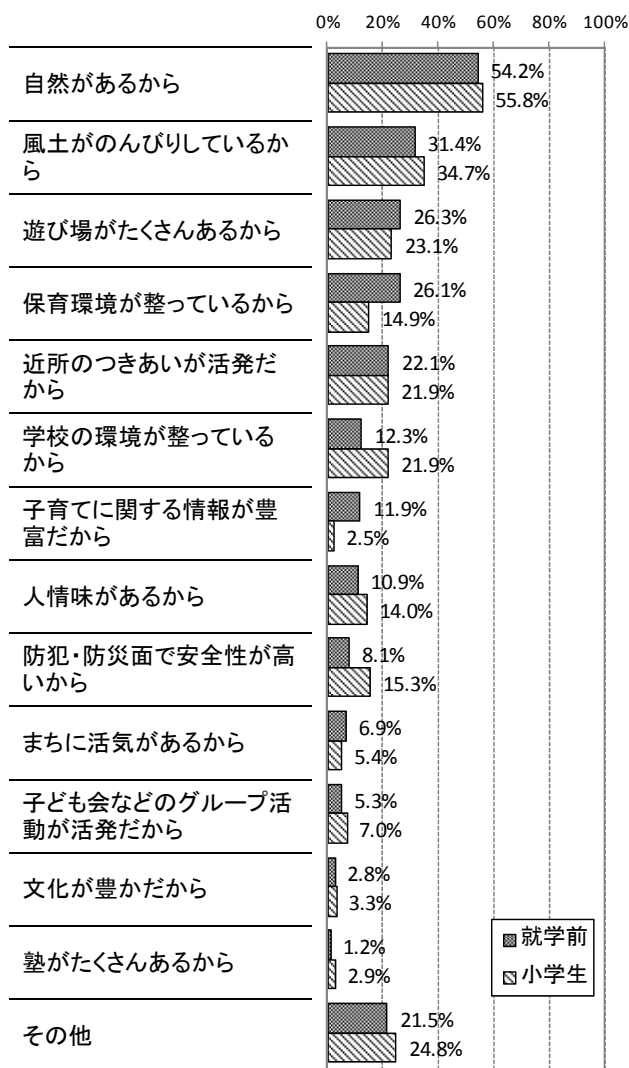
【小学校調査 N=424】



栗東市で子育てしたい理由は、『就学前』『小学校』とも「自然があるから」が55%前後で最も多く、次いで、「風土がのんびりしているから」、「遊び場がたくさんあるから」が続いています。

逆に、栗東市で子育てしたくない理由は、『就学前』『小学校』とも「保育環境が整っていないから」、「学校の環境が整っていないから」が多くなっています。次いで、「遊び場が少ないから」、「まちに活気がないから」が続いています。

《栗東市で子育てしたい理由／複数回答》
【就学前調査 N=506、小学校調査 N=242】



《栗東市で子育てしたくない理由／複数回答》
【就学前調査 N=299、小学校調査 N=168】

